



神戸大学基金

The Kobe University Fund



神戸大学が創る、 人・価値・未来。

— 神戸大学創立 120 周年記念募金のお願い —



神戸大学は、2022年に120周年を迎えます。



神戸大学

ごあいさつ

神戸大学は、1902（明治35）年設置の神戸高等商業学校をルーツに、兵庫県下のさまざまな学校を統合・移管して現在にいたります。設置時に掲げた「学理と実際の調和」の建学理念をベースに、文系と理系のバランスのとれた10学部・15研究科を有する総合大学として、融合と連携の力を最大限に発揮する卓越研究大学の実現を目指しています。そのために、先端研究の領域を開拓し、社会課題を解決する文理融合研究を推進して、研究・教育における新たな価値の創造に挑戦し続けます。

発想した価値コンセプトを実現するには、先導的な研究成果を社会に実装するプロセスを考え、またグローバル視点で社会的リーダーシップを発揮する人材が不可欠です。神戸大学は、創立120周年を記念して、国際社会、地域社会の中で負うべき使命と役割に鑑み、新しい価値を創造し、グローバル社会における人間性豊かな指導的人材を育成する環境を整えます。ステークホルダーの皆様には、課題発見・解決型グローバルエリートとして活躍する神戸大学の卒業生・修了生にご期待いただきたいと思います。

120年の区切りを「価値創造」への新たな出発と位置づけ、神戸大学で学び研究する学生に高度で豊富な研鑽と経験の場を提供するには、皆様からのご支援が欠かせません。諸事情ご賢察いただき、ご協力賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



国立大学法人神戸大学長

武田 廣 TAKEDA Hiroshi

神戸大学創立120周年記念募金

- 名 称： 神戸大学創立120周年記念募金
- 期 間： 2023年3月31日まで
- 主 体： 国立大学法人神戸大学 基金推進室
- 目標額： 30億円
- 目 的： 「神戸大学が創る、人・価値・未来。」のコピーが象徴する、120年の歴史の中で神戸大学が果たしてきた社会的役割、すなわち「学理と実際の調和」の精神に則り社会をリードする人材を輩出し進歩に貢献することを、将来にわたって確実なものとするべく、研究・教育の環境を整え、あわせて学生生活の充実を図るための基盤整備にあてる基金を設立します。
具体的には、神戸大学の卒業生・修了生の「あるべき・持つべき」像と資質を担保し、社会での活躍を約束するために、下記の3項目を目的とする事業の実現を目指します。

- ◆ 価値創造を担う人材を育てます >>> 神戸大学バリュースクールの専用施設新築と運営など
- ◆ 高いグローバル感覚を養います >>> 神戸大学インターナショナル・ハウス（仮称）の新築など
- ◆ 社会性と人間性を備えたリーダーシップを伸ばします >>> 課外活動クラブハウスの新築など

価値創造に挑戦し、社会の将来に活かす。

価値創造の役割を担い、
社会の課題を解決する。
新しく創り出す価値は、
革新と進歩に貢献します。



神戸大学の前身・神戸高等商業学校は、高等教育機関としての研究・教育とともに、学問を実務に応用し、実業界で活躍する人材の輩出が求められていました。この「学理と実際の調和」を重視する伝統は、文理融合と先端研究を推進し、実践的な卓越研究大学として社会に成果を還元する現在につながります。社会科学、人文・人間科学、自然科学、生命・医学のそれぞれの分

野で、学術の“知”により社会の要請を解決する、学問の社会実装を目指しています。

そこに共通する課題が、社会の革新と進歩を導く、新しい“価値”の創造です。それには、イノベーション創出への意欲やアントレプレナーシップの精神があってこそ、高い次元での実現が可能です。神戸大学は、“価値”の創造を普遍的な体系として可視化し、それをマスターし社会に貢献できる人材を育てることに、研究・教育の目的を置いています。

神戸大学バリュースクール

—— 思索と創造のワンダーランド

神戸大学は、“価値”を創造する人材を育てるために、「神戸大学バリュースクール（通称 V. スクール）」という新しい機構を設置し（2020年4月）、革新的イノベーションの創造と社会的課題の解決に貢献します。V. スクールでは、「価値創発」*1と「価値設計」*2という、“価値”を創造する2つの体系化したプロセスを学び、アントレプレナーシップを持つ人材育成を図ります。

V. スクールは学長直下の全学横断組織で、神戸大学に在籍する全ての学部生と大学院生が受講できます。さらに、ビジネスパーソン、投資家や研究者など、学外からの受講者を広く募り、神戸大学の持つ様々な資源を使って、それぞれの課題解決につながる“価値”を創造します。

このような試みは国内では初めてで、今後海外の機関との提携を進め、“価値”創造の世界的拠点となることを目指します。

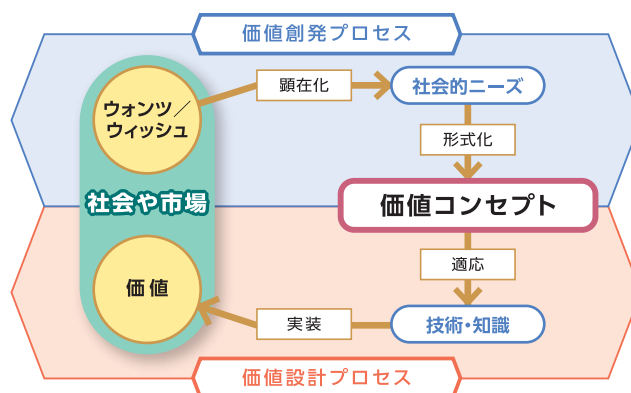
*1「価値創発」：将来への希望や期待（ウォンツ／ウィッシュ）を社会的ニーズにまで顕在化させ、当初は想定していなかった価値コンセプトを導くプロセス

*2「価値設計」：価値コンセプトを既存の知識や技術に適合させ、企業・団体や自治体の協力のもとで、製品やサービスとして市場や社会に導入するプロセス



価値創発プロセスで求められる
デザイン思考・システム思考を深めるグループワーク

価値創造＝価値創発 × 価値設計



KOBE
UNIVERSITY
V.School

神戸大学バリュースクール (V.スクール)

講師と内容： 本学教員による講義・PBL（問題解決型学習）、実業界からのケーススタディを用いた招聘講義

コア科目： 「価値創造概論」「価値創造の実践」「価値創造スパイラルアップPBL」など

関連科目： 価値創造に関する各研究科の講義など

事業規模： 10億円

科学技術とアントレプレナーシップの融合

科学技術イノベーション研究科では、バイオプロダクション、先端膜工学、先端 IT、先端医療学の自然科学系分野の研究者が、アントレプレナーシップに関する社会科学系分野の知見を学び、知的財産化、生産技術開発、市場開拓といった事業化プロセスをデザインします。

神戸大学が先導する先端科学技術の4分野は、社会に貢献する事業化が大きく期待される研究分野です。これらの分野において、研究開発能力とあわせて、研究成果の事業展開を図る戦略への理解をすすめて、イノベーションを自ら創出する理系人材を育成することが、科学技術イノベーション研究科の目的です。

科学技術アントレプレナーの輩出(博士課程後期)

- ベンチャー企業を立ち上げ科学技術イノベーションを実現する「独立企業家」
- 既存の組織や機関で科学技術イノベーションの創出に取り組む「企業内企業家」
- 科学技術イノベーションに関する研究教育を実践する「研究者・教育者」

アントレプレナーシップを備えた理系人材の育成(博士課程前期)

自然科学系4分野の 学際領域における先端科学の研究

- バイオプロダクション
- 先端膜工学
- 先端IT
- 先端医療学



事業化プロセスをデザインする アントレプレナーシップ教育

- 知的財産化
- 生産技術開発
- 市場開拓

国際海洋社会を牽引する存在に

国際港湾都市として発展した神戸には、進歩的な海洋技術や海洋に関する研究の伝統があります。神戸大学は、その系譜を海洋開発や海洋産業の創出・振興に活かすとともに、海洋に関する社会問題の解決に貢献する、“海のグローバルリーダー”を育てます。

新設置予定の「海洋政策科学部」では、海洋リテラシーと海洋リベラルアーツへの理解を高め、海洋の価値に通暁するエキスパートとしての実践力を涵養します。海洋立国を標榜する日本の国際的プレゼンスの向上に貢献することが使命です。



附属練習船「深江丸」

海洋政策科学部（仮称。下記は予定）

設置：2021年4月
定員：1学年200人
学科：海洋政策科学科
コース・領域：◆海洋ガバナンス ◆海洋基礎科学
◆海洋応用科学 ◆海技ライセンス

設置計画提出準備中



©手塚プロダクション

国際感覚を醸成し、世界基準に対応する。

神戸での120年の歴史。神戸大学の前身校は、それぞれが国際港湾都市の研究・教育機関としてその役割を果たしてきました。

貿易や国際関係、グローバル社会の進展に伴う人的交流や情報流通の活発化に対応する人材として、出身者は多彩な分野で活躍しています。

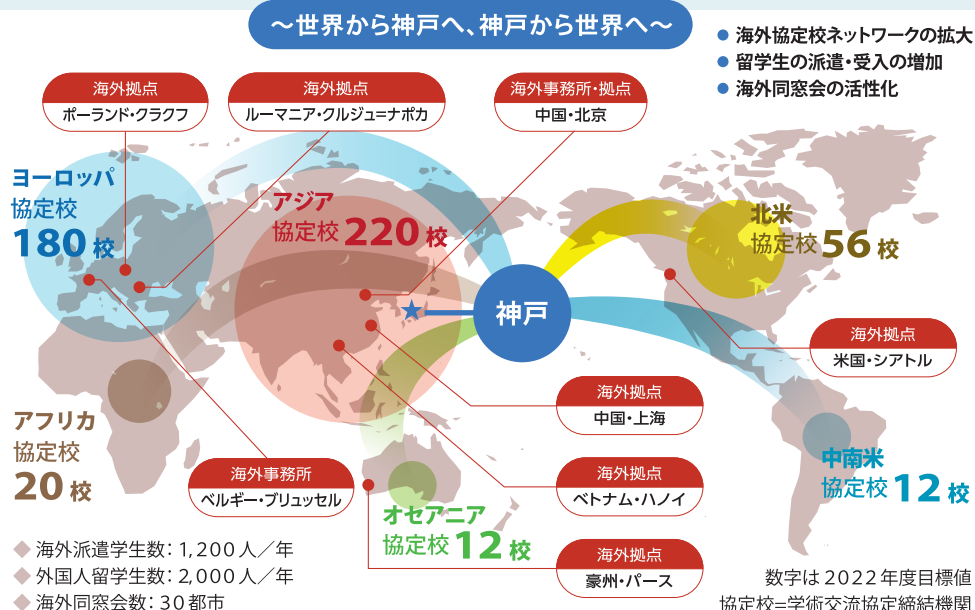
国際感覚を養い、グローバル社会で通用する知識や技術を身につけるためには、世界には多様な価値観があることを理解し、それらを実感することで自らのセンスを磨く必要があります。神戸大学は、その体験の機会とプログラムを用意し、学生の“世界への羽ばたき”を支援しています。



グローバル・ハブ・キャンパス構想

神戸大学が掲げる「グローバル・ハブ・キャンパス」構想では、世界各地から優秀な人材が神戸に集まるとともに、神戸から世界に向けて派遣する拠点機能を強化します。

～世界から神戸へ、神戸から世界へ～



グローバル社会で活躍し、
文化の多様性を理解する。
世界が抱える問題の解決に
国際的視点で取り組みます。

神戸大学 インターナショナル・ハウス

2023 年度供用開始 (予定)

外国人留学生や研究者の研究・修学環境を整え、また学生や教職員との共同研究や交流を支援するために、新たに「神戸大学インターナショナル・ハウス (仮称)」を建設します。ここでは、さまざまなプロジェクトやワークショップなどを通じて、グローバル社会での先導的な役割を担える学生を育てます。外国人留学生・研究者と日本人学生との混住型宿舍で、多機能スペースを活用した活発な交流が生まれます。

<施設概要>

- ◆ 日本人学生と留学生の混住型宿舍 (約 200 戸)
- ◆ 訪日・滞日外国人研究者のゲストハウス
- ◆ 多機能交流スペース (国際 TV 会議、セミナールームなど)
- ◆ 共同研究スペース (ラボ・オフィス、ラーニングコモンズなど)
- ◆ 地域社会・附属学校等とのコミュニケーションスペース

事業規模: 20 億円



グローバル化対応の加速と強化

グローバル社会への対応として、海外留学を組み込んだプログラム(単位)や、英語による教育プログラムを設置しています。語学の上達に限らず、専門分野での国際通用力を伸ばし、協働型グローバルリーダーを育てることを目標としています。EU(欧州連合)の社会文化や政治経済を専門的かつ横断的に学ぶ「EUエキスパート人材養成プログラム」や、日韓の3大学院が共同して取り組む「キャンパスアジアプログラム」など、神戸大学独自の取り組みは高く評価されています。

◆ 国際人間科学部「グローバル・スタディーズ・プログラム」

1学年全員(370人)が海外留学とフィールドワークを体験します。

◆ 経営学部「KIBERプログラム」

1年間の留学を組み込み、4年間で卒業します。

◆ 経済学部「5年一貫経済学国際教育プログラム」

海外提携校での学修を組み込み、5年間で修士号を取得します。

◆ 全学部「オックスフォード夏季研修プログラム」

オックスフォード大学で、英語と英国文化を研修します。



グローバルイシューの発見と解決

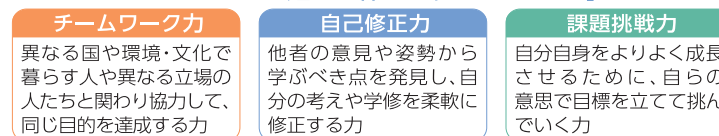
神戸大学の国際戦略として、キャンパスの国際化とあわせて、国際社会で活躍する人材を育てるためのプログラムの充実を掲げています。中でも1・2年生が対象の「神戸グローバルチャレンジプログラム」は、国際的なフィールドでの学外学修を経験することで、グローバル人材として必要な、課題発見と解決の能力を身につけることを目標としたものです。

神戸グローバルチャレンジプログラム(2019年度)

国際的なフィールドでの多様な学外学修コース



プログラムを通じて伸ばす「3つのチカラ」



「夢の実現」のために

Voice

工学部1年(当時)

入学したら海外経験を、とっていて、神戸グローバルチャレンジプログラムと奨学金制度を知り、近くロイヤルメルボルン工科大学での講義や研修に参加します。10日間ですが、多文化圏でのコミュニケーション、他国の工学部との比較などの課題を持ち、グローバル社会の中での自分の可能性を探ります。



将来は宇宙開発事業に関わりたと思っています。昨今、月の資源探査や開発に世界中の民間企業が目を向けています。競争や協調には、知識や技術力に加え高度な語学力と国際感覚が必要で、視野を広げなければなりません。今回のプログラム参加はその第一歩です。今は機械工学科で工学の基礎を学んでいます。幼い頃から「ものづくり」が好きで、『宇宙兄弟』や『下町ロケット』の世界に憧れていました。大学時代の経験が、夢をかなえる近道になればと願っています。

神戸大学の国際教育と国際交流

2019年11月現在

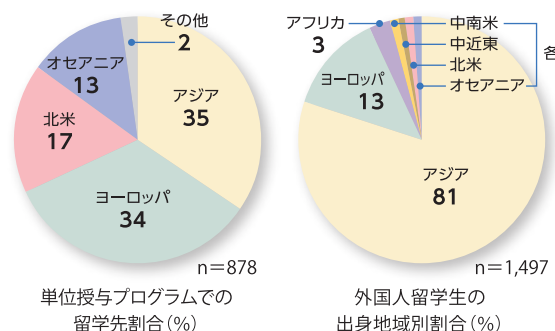
◆ 学術交流協定締結機関 = 373大学等(64カ国・地域)

◆ 交換留学協定締結校 = 240大学(46カ国・地域)

◆ 海外派遣学生数(2018年度)

= 1,154人(うち交換留学など単位授与プログラム878人)

◆ 外国人留学生数 = 1,497人



神戸大学での経験が、社会を動かすエンジンを推進する。

1949年の新制大学への移行以来、学部卒業生と大学院修士生は合計延べ約20万人。キャンパスで培った、「学理と実際の調和」への意識と行動力を、それぞれが実社会で役立てています。神戸大学出身者の特徴は、教養教育において「神戸スタンダード」と称する能力を身につけていること。多様性と

グローバル課題を複眼的に思考して理解し、専門性や価値観を異にする人々と協働して実践する能力を発揮します。

そのベースにあるのは、基礎教育や学生生活の充実です。教養と品格、人間的魅力を持つ人格形成に、神戸大学のカリキュラムとキャンパスライフの経験が活かれています。

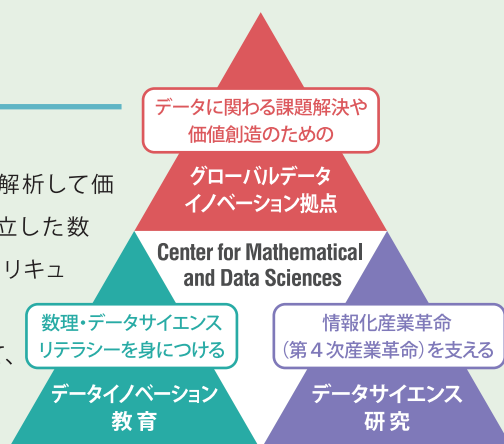


データイノベーション教育の推進

産業構造の変化に対応し、資源の宝庫であるデータを分析・解析して価値創造に結びつける人材を育てることを目的に、2017年に設立した数理・データサイエンスセンターが、「数理・データサイエンス標準カリキュラムコース」を開講しています。



全学部生を対象として、分野や専門性を問わず、急速に発展するICT技術への理解



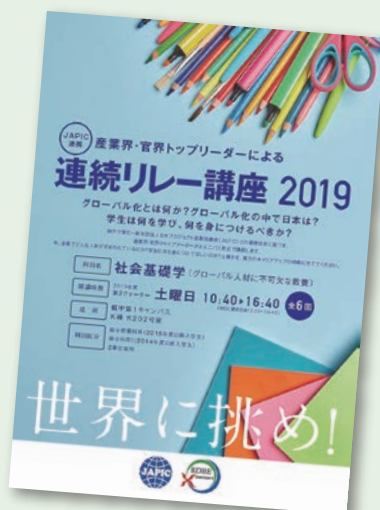
数理・データサイエンスセンターの役割

を深めます。数理・統計・情報・データサイエンスの科目を設け、データへのリテラシーの涵養と、データを扱う技術の向上を図ります。学部・系列を超えて、様々な分野でデータサイエンスが使われている事例を知り、数理・統計の知識やプログラミングのスキルを学びます。

トップリーダーに学ぶ社会基礎学

世界のグローバル化による大交流・大競争時代を迎え、国際社会に貢献するためには、グローバル人材に不可欠な教養として「社会基礎学」をマスターする必要があります。

学術・産業イノベーション創造本部が（一社）日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）と連携して開設した、産業界・官界のトップリーダーによるリレー講座では、全学部生を対象にグローバル時代にチャレンジするための知識や教養、想像力や構想力の向上と心構えをサポートします。



実践の期待に応えます。
コミュニケーション能力を持ち
社会的リテラシーの高さと、
リーダーシップを発揮する。

課外活動の充実と活躍への支援

キャンパスライフを彩る課外活動は、社会性・人間性を高めるとともに、自らの将来を見据え、「やりたいこと」「やるべきこと」を追求する学生時代ならではの貴重な経験です。神戸大学は、学生の課外活動をサポートし、社会人としての人間の成長を支えます。

復興ボランティアの長期継続

2011年の東日本大震災直後から、「東北ボランティアバスプロジェクト」のメンバーが年に数回、現地で復興支援を行っています。最近は小中学生の学習支援や地域交流の活性化へと幅広い活動に移り、2018年度までに延べ1,700人以上の神戸大学生が参加しました。この継続的活動に対し、神戸大学基金から交通費補助額などを給付しています。



国際大会で大活躍

オフショアセーリング部は、2019年の全日本学生外洋帆走選手権での優勝、欧州最大規模の大型ヨットの学生世界大会「EDHEC Sailing Cup」への出場など、日本を代表するチームとして認められています。神戸大学基金から、国際大会の参加費用等を助成し、活躍を応援しています。

クラブハウス(部室棟)の新築計画

事業規模：4億円

自己研鑽や鍛錬、高みへの挑戦、リーダーシップ、チームワークなど、活発な課外活動は多彩な力を養います。その充実には、グラウンドやホール、会合スペースなどの環境整備が不可欠で、多くの卒業生や企業から、クラブ等の活動にご支援をいただいています。

<クラブハウス>

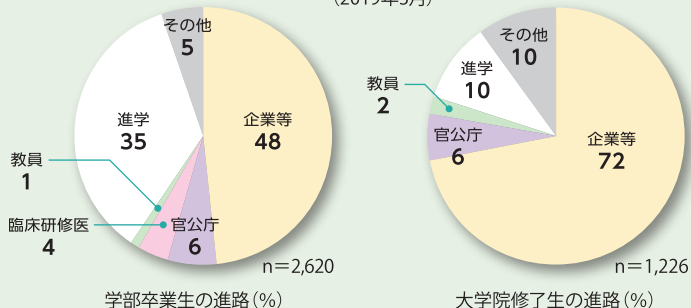
- ◆ 約20団体が入室
- ◆ 防音設備
- ◆ 共用ホール
- ◆ ミーティングスペース
- ◆ シャワールーム ほか



就職活動とキャリア形成への支援

神戸大学の卒業生・修了生の多くが就職し、社会を活躍のフィールドとします。それぞれが描くキャリアデザインを実現するために、キャリアセンターをはじめ学内の様々な組織が情報提供などの支援活動を行っています。

神戸大学出身者の進路
(2019年3月)



神戸大学東京オフィス (キャリアセンター東京分室)

東京圏での就職活動の支援や、キャリア形成をサポートする施設が「神戸大学東京オフィス」です。神戸大学基金の支援事業のひとつで、2004年にオープンしました。2014年に有楽町駅前の至便な場所に移り、東京圏の企業訪問やセミナー参加などの際に活用されています。



東京交通会館9階

神戸大学基金の目的と活用

神戸大学基金は、国立大学の法人化により財務基盤を強化する必要から、2006年に創設されました。奨学金など学生の経済的困窮への支援はもとより、研究・教育の環境整備や学生による各種の活動へのサポート、学部単位で遂行する事業やプロジェクトへの助成、外部資金による共同研究や寄附講座の活性化などに基金を活用しています。国からの運営費交付金や自主財源では達成できない、神戸大学独自の様々な取り組みの実現のために、神戸大学基金の充実は欠かせません。

神戸大学創立120周年記念事業の実現

◆ 価値創造を担う人材の育成 >>>

神戸大学バリュースクールの
専用施設新築と運営など

◆ 高度なグローバルセンスの醸成 >>>

神戸大学インターナショナル・ハウス(仮称)
の新築など

◆ 社会性とリーダーシップの涵養 >>>

課外活動クラブハウスの新築など

< 下記の目的にも活用しています >

教育プログラムのチャレンジ支援

- 海外留学・研修派遣への助成
- 外国人留学生の滞在費用助成
- 冠奨学金制度によるチャレンジ支援

研究活動の進展のサポート

- 特定分野へのご寄附による研究支援
- 冠名称を付した研究支援
- 寄附講座の開講
- 「海神プロジェクト」の支援
- 各学部・研究科などの周年記念事業

修学・学生生活の経済的支援

- 罹災・事故等による緊急支援奨学金支給
- 経済的困窮の新入生への奨学金支給
- 冠奨学金制度による経済的支援

キャンパスの環境整備

- 学内施設や環境の整備と保全
- ダイバーシティ(多様性)の推進
- 施設・設備等の現物ご寄贈による整備

課外活動への助成

- クラブ活動の大会遠征等の費用助成
- 被災地ボランティア等の活動支援
- グラウンド設備等の改良・メンテナンス

出版への助成

- 出版会出版基金

キャリア・将来設計のサポート

- 東京オフィスの運営とキャリア形成支援
- 冠奨学金制度による起業支援

附属病院の環境整備

- あじさい基金

皆様からの温かいご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

ご寄附には、金融機関等でのお振り込み、またはインターネット（クレジットカード・インターネットバンキング）でのオンライン決済をお願いいただけます。詳しくは別添の専用払込取扱票および「神戸大学基金」のウェブサイト <https://www.kobe-u.ac.jp/info/kikin/index.html> をご覧ください。



神戸大学基金に関するお問い合わせ
神戸大学基金推進室
Kobe University Fund-Raising Office

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学企画部卒業生・基金課内
TEL: 078-803-5414 FAX: 078-803-5024 E-Mail: kikin@office.kobe-u.ac.jp
(平日9時～12時、13時～17時)
<https://www.kobe-u.ac.jp/info/kikin/index.html>

<https://www.kobe-u.ac.jp/info/kikin/index.html>

神戸大学基金

検索

